

- 問1 沖縄県の産業構造が、他の都道府県と比較して第三次産業の割合が非常に高い理由として、地理的背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 低緯度による温暖な気候やサンゴ礁などの自然資源を活かした観光業が、地域の経済を支える基幹産業となっているため。 | 2. 内陸部に位置し、海から遠いため、海上輸送に依存しない精密機械工業や高度な情報産業が集中したため。 | 3. 高緯度で冷涼な気候を活かし、大規模な機械化農業と乳製品の加工販売が一体化しているため。 | 4. 広大な平野と豊かな水資源を活用した大規模な稲作が行われ、それに関連する製造業が発達したため。 |
|--|---|--|---|
- 問2 2020年の統計において、岡山県、愛媛県、沖縄県、宮崎県の4県を比較したとき、製造品出荷額よりも農業産出額の多さが際立ち、特に肉用牛や豚、鶏などの畜産業が盛んで農業産出額において高い割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 愛媛県 | 3. 岡山県 | 4. 沖縄県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 九州にある特定の都市の産業別就業者割合を調査したところ、就業者全体の3分の1以上（約33.5%）が、製造業や建設業といった第2次産業に従事していることがわかりました。この都市の産業構造に見られる主な特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 行政機関や商業施設が集積し、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて盛んである。 | 2. 歴史的な建造物や自然景観を活かした観光業が、地域経済の基盤となっている。 | 3. 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。 | 4. 広大な平野を活用した米作りや施設園芸といった第1次産業が中心である。 |
|--|---|------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 鹿児島市の沿岸部において、1983年には海だった場所が2004年には「みなと大通り公園」や「水族館」が位置する陸地へと変化した。このような地形の変化をもたらした背景として正しいものはどれか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大規模な地震によって地盤が急激に隆起し、海面下だった場所が陸地になった。 | 2. 地球温暖化の影響で海面が低下したことにより、浅瀬だった場所が自然に陸地化した。 | 3. 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。 | 4. 火山の噴火によって流出した溶岩が海岸線に到達し、冷えて固まることで土地が広がった。 |
|---|--|--|--|
- 問5 鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、火山噴出物が堆積してできたシラス台地では、その土地の性質からどのような土地利用が一般的ですか。最も適切な理由と内容の組み合わせを選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 年間を通して気温が低く土壌が凍結するため、農地にはせず牧草地として利用されている。 | 2. 保水力が非常に高く、常に湿り気を帯びているため、大規模な水田地帯として利用されている。 | 3. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくいいため、古くから畑として利用されている。 | 4. 土壌に塩分が多く含まれており農作物の栽培に適さないため、主に工業用地として利用されている。 |
|--|--|--|--|
- 問6 日本の各地方における農業産出額の品目別割合に関する説明として、九州地方の特徴を正しく述べているものを次から選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。 | 2. 他の地方と比べて米の占める割合が非常に高く、全体の半数近くを占めている。 | 3. みかんやりんごなどの栽培が盛んであり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。 | 4. 大都市への出荷に向けた近郊農業が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。 |
|--|---|--|---|
- 問7 九州地方の北西部に位置するある県は、東側を福岡県、西側を長崎県に挟まれており、北側は対馬海流が流れる玄界灘、南側は日本最大の干満差で知られる有明海という、特徴の異なる二つの海に面しています。この条件に当てはまる県はどこですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長崎県 | 2. 佐賀県 | 3. 熊本県 | 4. 大分県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってきた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。 | 2. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。 | 3. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。 | 4. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食料品工業への転換が進んだ。 |
|---|--|---|--|
- 問9 宮崎県において、きゅうりなどの生産にビニールハウスなどの施設を用いた農業が積極的に行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|------------------------------------|---|
| 1. 大都市の近郊という立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を届けるため | 2. 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせて出荷を行うため | 3. 土地の傾斜を活かして、機械による大規模な農作業を効率化するため | 4. 冷涼な気候を利用して、他の地域が収穫を終えた後の時期に出荷を遅らせるため |
|--|--|------------------------------------|---|
- 問10 鹿児島県の農業についてまとめた資料の中で、広大な台地を利用して茶の栽培や畑作、畜産が盛んに行われている背景として説明される、この土地の成り立ちはどのようなものですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 地殻変動によって海底が押し上げられ、平らな台地となった | 2. 森林を大規模に伐採し、人工的に土を盛り土して造成した | 3. 河川が長年かけて山から土砂を運び、平坦な土地を形成した | 4. 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴出物が堆積した |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問11 九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業 | 2. 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培 | 3. 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培 | 4. 広大な土地を利用して乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問12 千葉県、北海道、大阪府、沖縄県の4つの地域の航空貨物輸送量を比較した統計において、国内線の輸送量に比べて国際線の輸送量の割合が非常に高く、東アジアの主要都市を結ぶ中継拠点（ハブ）としての役割を果たしている都道府県はどこか、次の中から選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 千葉県 | 2. 沖縄県 | 3. 北海道 | 4. 大阪府 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 九州地方の産業統計において、金属製品の出荷額が5,000億円を超え、さらに観光やビジネスに伴う宿泊旅行者数が年間350万人を上回るなど、製造業とサービス業の両面で中心的な役割を果たしている県はどこですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 佐賀県 | 2. 福岡県 | 3. 宮崎県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 低緯度による温暖な気候やサンゴ礁などの自然資源を活かした観光業が、地域の経済を支える基幹産業となっているため。	沖縄県は日本列島の南端に位置し、緯度が低いため年間平均気温が高いという地理的特性を持っています。また、周囲を海に囲まれ、美しいサンゴ礁が発達していることから、これらを観光資源としたレジャー・サービス業が発展しました。一方で、島嶼部であるために大規模な工業用地の確保や原材料の輸送コストに課題があり、重化学工業などの第二次産業よりも、自然環境を資源とする第三次産業が中心の構造になっています。
問2	答え 1 宮崎県	宮崎県は、シラス台地などの地形的特性を活かした畑作や畜産業が非常に盛んな県です。農業産出額に占める畜産の割合が全国的に見ても非常に高く、豚や肉用牛、ブロイラーの生産量は日本トップクラスです。選択肢にある他の県と比較すると、岡山県は製造業の規模が大きく、愛媛県は果樹（みかん）、沖縄県は亜熱帯農業といった異なる特徴を持っています。
問3	答え 3 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。	自動車の組立工場や部品工場が多く立地する都市では、製造業に携わる労働者が多くなるため、第2次産業の就業者割合が他の都市に比べて高くなる傾向があります。九州では、輸送用機械などの製造業が盛んな都市がこの特徴に合致しており、商業が中心の都市に比べて第2次産業の割合が突出して高いのが特徴です。
問4	答え 3 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。	かつて海であった場所に公園や水族館などの大規模な施設が整備されているのは、人工的な埋め立てが行われた結果です。これにより海岸線が以前よりも沖合へ移動し、土地の利用形態が大きく変化しました。地盤の隆起や溶岩による変化ではなく、計画的な都市開発によるものです。
問5	答え 3 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい ため、古くから畑として利用されている。	シラスは火山灰や軽石が堆積したもので、粒が粗く隙間が多いため、水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、稲作に必要な水を溜めておくことが難しく、伝統的にサツマイモや茶などを栽培する畑作が行われてきました。現在は大規模な灌漑（かんがい）施設の整備により、さまざまな農業が行われています。
問6	答え 1 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。	九州地方は鹿児島県や宮崎県などを中心に肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んであり、農業産出額の品目別割合では畜産が最も高い割合を占めています。なお、米の割合が高いのは東北地方、野菜の割合が高いのは関東地方の特徴となります。
問7	答え 2 佐賀県	九州地方の北西部において、福岡県と長崎県の間に位置し、北と南で異なる海（玄界灘と有明海）に面しているのは佐賀県です。南側の有明海は遠浅の干潟が発達しており、ノリの養殖が盛んである一方、北側の玄界灘は対馬海流の影響を受けるなど、一つの県の中で多様な自然環境を有しているのが特徴です。
問8	答え 2 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い 地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行わ れている。	九州地方は阿蘇山や桜島などの活火山が多く、火山活動による熱エネルギーが豊富なため、大分県の八丁原発所に代表される地熱発電が盛んです。選択肢にあるシラス台地は水持ちが悪いため稲作には適さず、サツマイモなどの畑作や畜産が行われています。また、官営八幡製鉄所が建設されたのは福岡市ではなく現在の北九州市であり、筑豊炭田の石炭を利用していました。筑豊地域におけるエネルギー革命後の産業転換は、主に自動車産業の誘致などであり、地熱を利用した産業転換という記述は誤りです。
問9	答え 2 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引 価格が高い時期に合わせて出荷を行うため	宮崎県で盛んな促成栽培の最大の目的は、経済的な利益を高めることにあります。多くの地域で栽培が難しい冬から春にかけて、ビニールハウスで温度を管理して出荷することで、供給不足により価格が上がった市場で有利に販売することができます。これに対し、夏の涼しさを利用して出荷を遅らせる方法は「抑制栽培」と呼ばれ、長野県などの高冷地で見られます。
問10	答え 4 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴 出物が堆積した	九州南部に広がるシラス台地は、約3万年前の始良カルデラなどの巨大噴火によって噴出した火山灰や火砕流が厚く積み重なってできた地形です。このように火山噴出物が起源であるため、稲作に必要な栄養分や保水力に乏しいという特徴がありますが、現在はスプリンクラーなどの灌漑施設の整備が進み、大規模な畑作地帯となっています。
問11	答え 1 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑 作や、肉用牛・豚などの畜産業	鹿児島県の大半を覆うシラス台地は、水分を保持しにくい性質があるため、水田稲作よりも畑作に適しています。このため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した肉用牛・豚・鶏（ブロイラー）などの畜産業が組み合わされ、全国有数の農業地帯となりました。他の選択肢のうち、促成栽培は宮崎平野や高知平野、果樹栽培は愛媛県や和歌山県、大規模な酪農は北海道などで顕著に見られる特色です。
問12	答え 2 沖縄県	沖縄県にある那覇空港は、東アジアの主要都市のほぼ中心に位置するという地理的な優位性を持っています。この利点を生かし、24時間運用が可能な国際的な航空貨物輸送の拠点（貨物ハブ）として整備されており、海外からの貨物を一度集めてから各地へ配送する仕組みが構築されています。そのため、他の都道府県と比較しても国際線貨物の重要性が非常に高いのが特徴です。
問13	答え 2 福岡県	九州地方北部に位置するこの県は、北九州工業地帯を擁しており、古くから金属工業や機械工業が発展してきました。また、九州最大の都市である福岡市を中心に、商業やサービス業、交通網が高度に発達しているため、ビジネスや観光目的の宿泊旅行者数が他県に比べて圧倒的に多いという特徴があります。